

令和5年2月1日

希望に満ちた春へ

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

2月3日は節分です。今年も各地、各家庭で豆まきの光景が見られることでしょう。残念ながら新型コロナウイルス感染症という病気鬼を退治することが急務となっています。一日も早く収束を迎えたいものです。

古くから豆は「魔滅」と書くことができ、鬼を退治できる穀物だと信じられてきました。また、厄払いの豆は芽が出ないように煎った大豆を用いました。これは悪いことが再生しないようにとの願いが込められています。疫病や飢饉、争乱といった様々な困難な状況にあっても、先人達は知恵を出し合い、これらを打破しようと勇気を持って行動してきたに違いありません。生活を明るく、豊かにするための叡智や伝統行事にも学ぶべきことがたくさんあります。

最先端の科学的知見による医療システムや薬剤等の開発といった「魔滅」を投げつけ、長き闘いに終止符を打ちたいものです。

節分の翌日は立春です。希望に満ちた卒業、進級、入学シーズンを迎えたいものです。

令和5年2月19日

歴史と伝統を永遠に刻む

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

2月19日、南九州市立浮辺小学校閉校記念式典が行われました。子どもたち全員による学校への感謝の言葉や思い出の発表に感動し、目頭が熱くなりました。本校は、3月31日をもって校札を南九州市教育委員会に返納し、144年という長い歴史と伝統に終止符を打つこととなります。

子どもたちは、4月から進学する知覧中学校、統合校である霜出小学校で、ふるさとのよさと自分たちのよさを誇りに、身に付けた力を十分に発揮しながら、大いに活躍するものと信じています。

私は一年という短い在職期間でしたが、校長としての貴重な経験を色濃く積みさせていただきました。学んだ多くのことを今後の学校経営や人生に生かしていきたいと思えます。これまで学校の長き歩みに関わってこられた全ての方々に深く感謝申し上げます。

残り一月ほどで卒業式、修了式を迎えます。子どもたち、職員と共に充実した教育活動を最後まで力強く展開し、浮辺小学校の歴史と伝統を永遠に刻んでいきたいと思えます。

保護者や地域、関係機関の皆様方の変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願ひします。

令和5年2月19日

歴史と伝統を永遠に刻む

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

2月19日、南九州市立浮辺小学校閉校記念式典が行われました。子どもたち全員による学校への感謝の言葉や思い出の発表に感動し、目頭が熱くなりました。本校は、3月31日をもって校札を南九州市教育委員会に返納し、144年という長い歴史と伝統に終止符を打つこととなります。

子どもたちは、4月から進学する知覧中学校、統合校である霜出小学校で、ふるさとのよさと自分たちのよさを誇りに、身に付けた力を十分に発揮しながら、大いに活躍するものと信じています。

私は一年という短い在職期間でしたが、校長としての貴重な経験を色濃く積ませていただきました。学んだ多くのことを今後の学校経営や人生に活かしていきたいと思えます。これまで学校の長き歩みに関わってこられた全ての方々に深く感謝申し上げます。

残り一月ほどで卒業式、修了式を迎えます。子どもたち、職員と共に充実した教育活動を最後まで力強く展開し、浮辺小学校の歴史と伝統を永遠に刻んでいきたいと思えます。

保護者や地域、関係機関の皆様方の変わらぬ御支援、御協力をよろしく申し上げます。